

---

TEachOtherS 活用マニュアル

# 単一文章への コメント活動

一つの文章に各自でコメントして，全員でふりかえり

先生用



# まえがき

## □ TEachOtherS とは

TEachOtherS は、グループでの作文や読解活動において、教師・学生を支援するためのシステムです。教師・学生は、PC やタブレット、スマートフォンの Web ブラウザから TEachOtherS のサーバにアクセスする形で利用します。TEachOtherS の主な機能は次のとおりです。

- 学生が Web ブラウザ上で文章を作成して、グループのメンバーと共有したり、互いの文章にフィードバックする（コメントやマークをつける）ことができます。
- 教師が、ユーザやグループの管理、活動フェーズ（文章の作成、フィードバック、グループ振り返りなど）の管理、活動データの配布などを行うのを支援します。

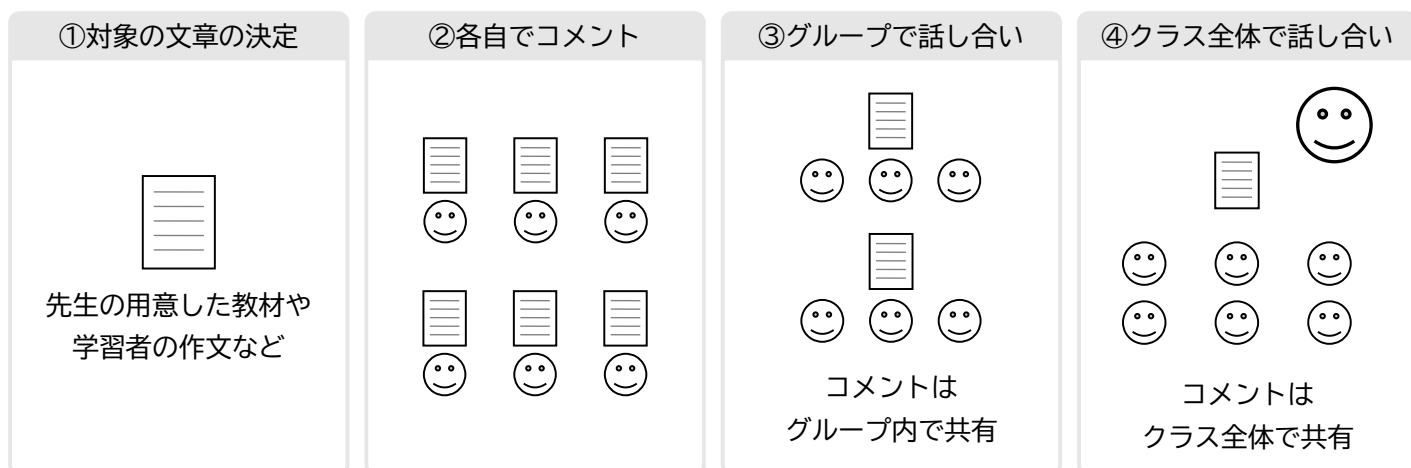
## □ 単一文章へのコメント活動とは

単一文章へのコメント活動とは、グループで対象の文章を一つに決めて、全員がその文章にコメント付けを行い、その結果を共有・振り返りをする活動です。該当する活動にはさまざまなものが考えられますが、次の例を挙げておきます。

- 読解の授業で、全員が一つの文章を読んで、コメント付けしたあと、話し合う
- 作文の授業で、先生が作文例を示して、全員でコメント付けしたあと、話し合う

下の図は、単一文章へのコメント活動の一般的な流れを示したものです。個々のステップの説明を以下に示します。皆さんの活動に TEachOtherS が導入したり、新たに TEachOtherS を導入した活動を設計したりする場合の参考にしてください。

- (1) コメント対象の文章を決めます。先生が用意した教材や、特定の学生の作文が候補になるでしょう。
- (2) 活動の参加者全員が、対象の文章に個別にコメントをつけます。このとき、他人がつけたコメントは見えません。
- (3) 複数のグループに別れて、話し合いなどの活動を行います。各メンバーのコメントはグループ内で共有します。なお、このフェーズは必須ではなく、必要に応じて行います。
- (4) クラス全員文の授業で、先生を交えて、話し合いなどの活動を行います。このフェーズでは、クラス全員がコメントを共有します。



## ■ 本マニュアルで取り上げる活動

### ■ 活動の概要

本マニュアルでは、単一文章へのコメント活動として、クラス全員が、同じ教材用の作文を対象に、文章の構成や日本語の誤りに対して、コメントづけする活動を扱います。活動の流れは、前ページと同じです。コメントづけを行ったあとは、全員のコメントを統合して、全員で振り返りを行います。

### ■ メンバーとグループ

活動は、次のメンバーとグループの設定で行います。なお、TEachOtherS は 20 名程度までのグループ活動を想定して設計されています。

- 学生は太郎、次郎、三郎、花子、朝子、夕子の 6 名
- ユーザ X は、コメント対象の教材作文用のダミーユーザ
- グループは、「太郎、次郎、三郎」「花子、朝子、夕子」の二つ

### ■ 活動例

下の図は、グループ「太郎、次郎、三郎」全員のコメントを統合して表示した結果です。コメントをつけたい範囲に「コメントタグ」をつけます。今回は日本語の誤りの指摘なので、コメントを整理しやすくするために、次のような種別を設けています。下線の色はコメントタグの種別を表します。なお、この種別は、教師が定義することができます。

- 「表記」「文法」「語彙」「書式」「その他」
- 「論理」「構成」「根拠」「その他」

グループでの話し合いは、このようにコメントを統合した結果を元に行います。この作文の冒頭のように、複数のメンバーが同一箇所コメントすると、下線が重なって表示されます。また、画面右のコメント一覧では、コメントとともに、種別や、コメントした学生の ID が表示されます。

The screenshot shows a web browser window with the URL 'TEachOtherS - Top'. The main content area displays a text document titled '自動車と地球温暖化' (Cars and Global Warming). The text discusses the impact of cars on the environment and mentions that governments are working to regulate emissions. Several lines of text are underlined in different colors (blue, green, red, orange) to indicate comments. On the right side, a comment list is visible, showing comments from various users (太郎, 次郎, 三郎) with their respective comment types (e.g., 文法, 構成, 表記) and the text of their comments. The comment list is scrollable and includes a search bar at the top.

# 目次

<b>第1章 準備編</b>	<b>1</b>
1.1 使用機器とソフトウェア	2
1.2 管理者用アカウントの取得	3
1.3 学生アカウントの作成	5
1.4 コメント対象の文章の準備	7
1.5 コメントタグの設定	9
<b>第2章 実践活動編</b>	<b>11</b>
2.1 「各自コメント」フェーズ	12
2.2 「グループ振り返り」フェーズ	15
2.3 「全体振り返り」フェーズ	17
<b>第3章 その他の機能</b>	<b>19</b>
3.1 活動データのダウンロード機能	20
3.2 ユーザアカウントの「オプション」機能	22
3.3 「匿名」機能	23



# 第1章

## 準備編

---

実践で使用する使用機器やソフトウェア，管理用・学生用のアカウントの取得など，活動に入る前に必要な準備について説明します。

# 1.1 使用機器とソフトウェア

TEachOtherS は、Web ブラウザから利用するサービスです。そのため、以下の三つを用意する必要があります。

- PC, タブレット, スマートフォンなどの、インターネットに接続できる機器
- Web ブラウザ
- 管理者用アカウント申請用のメールアドレス（管理者のみ）

## □ インターネット接続機器

後述の条件を満たす Web ブラウザが利用できるのであれば、PC, タブレット, スマートフォンなど、いずれの機器でも TEachOtherS を使用することができます。ただし、画面サイズが小さいと、実用的な難しかったり、表示や機能に制限が出る場合もありますので、活動の種類に合わせて、使用する機器を選択するようにしてください。なお、TEachOtherS を開発する際は、次の OS を考慮しています。

- Windows (10 以降)
- macOS
- Android (8 以降)
- iOS, iPadOS
- Linux (Ubuntu 22.04)

## □ Web ブラウザ

TEachOtherS の推奨 Web ブラウザは、次のとおりです。特別な事情がない限り、最新バージョンを使用してください。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari
- Firefox

- iOS, iPadOS では、OS と Safari の更新が連動するため、OS を最新版にするようにしてください。
- スマートフォンのメーカーが独自に開発しているようなブラウザを使用している場合は、上記の推奨ブラウザのうちの一つを別途インストールするようにしてください。特に、留学生が自国で購入したスマートフォンを利用している場合は、注意してください。
- サポート対象をはずれたような古い OS（例：Windows7 や Android 6）を使用している場合は、最新版のブラウザがインストールされているか、確認してください。



## 1.2 管理者用アカウントの取得

教師は TEachOtherS を使った授業活動を運営するために、管理者用アカウントを取得する必要があります。管理者アカウントの取得には、メールアドレスが必須です。

### □ アカウントの申請

(1) ブラウザから TEachOtherS にアクセスし、ログインページの下端にある「アカウントの作成」をクリックします。



(2) 「アカウント作成」のポップアップにメールアドレスを入力します。「送信」ボタンをクリックすると、入力したメールアドレスに管理者用アカウントの情報が送付されます。



### □ 管理者用アカウントの受信

申請時に入力したメールアドレス宛に、管理者アカウントの URL、およびログイン時に必要となる「ID」と「オプション」の情報を含んだメールが届きます。

- 次回から、管理者はこれらの情報を使用して、ログインします。忘れずに保存しておいてください。
- これらの情報はパスワードに相当します。他人に知られないよう管理してください。

#### お知らせメールの例

Your TEachOtherS account has been created.  
You can access your activity's console from the following URL.

URL: `https://teachothers.ninjal.ac.jp/xxxxx`  
ID: (あなたのメールアドレス)  
Option: XXXXXXXX

## □ 管理者用アカウントへのログイン

メールアドレスに送付されたアカウント管理用の URL にアクセスすると、次のようなログイン画面が表示されます。受信したメールに指定された値を「ID」と「オプション」欄に入力し、画面の下端にある「ログイン」のボタンをクリックしてください。



管理者用アカウントのログイン画面は紫色です





## □ グループ分け

グループ分けは、ユーザー一覧の「グループ」列に0以上の数値を入れることにより、行います。今回は、次のように割り当てます。グループの番号は半角で、各ユーザのグループ欄に直接入力します。入力が終わったら、忘れずに「保存」ボタンを押してください。

なお、グループ分けの設定は実践前に行っておく必要はなく、グループ振り返りフェーズ (p.15 参照) に入る前までに行ってください。

グループ番号 0: X (教材作文用ユーザ)  
 グループ番号 1: 太郎, 次郎, 三郎  
 グループ番号 2: 花子, 朝子, タ子

「保存」ボタンを押すのを  
 忘れずに！

ID	(オプション) 更新日時	グループ	URL
x	2024/6/3 14:42:51	0	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
太郎	2024/6/3 14:42:51	1	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
次郎	2024/6/3 14:42:51	1	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
三郎	2024/6/3 14:42:51	1	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
花子	2024/6/3 14:42:51	2	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
朝子	2024/6/3	?	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...

授業の学生が多い場合やランダムにグループ分けをしたい場合など、自動でグループ分けしたい場合は、「URL」の左側にある「グループ」のプルダウンメニューを使ってください。選択できるグループ分けの方法は、(1) ランダム、(2) ユーザー一覧の上から順、(3) なし [グループ番号が全員0になる]、の三つです。グループの数は、「グループ数」欄に数値を入れて指定します。

ID	(オプション) 更新日時	グループ	URL
x	2024/6/3 14:42:51	ランダム	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
太郎	2024/6/3 14:42:51	上から順	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...
次郎	2024/6/3 14:42:51	なし	https://tk-254-39030na.sakura.ne.jp/TES_3406w/t=47d6e...

グループ数: [ ]

- 自動で分割された場合も、「保存」ボタンを押す必要があります。
- 自動で分割後、手動で修正することもできます。

## 1.4 コメント対象の文章の準備

コメント対象の文章を指定するには、登録したユーザのうち、教師が一人を指定することによって行います。今回はダミーユーザ「X」の文章をコメント対象とするので、「X」をコメント対象のユーザとして指定します。コメント対象の文章は、「X」の作文として、教師が活動前に入力します。

### □ コメント対象ユーザの指定

管理画面の「メイン」タブを開いて、「活動タイプ」と「フェーズ管理」欄を指定します。

今回は、下の図のように、「活動タイプ」は「単一文章へのコメント活動」、「対象ユーザ ID」は「X」、「フェーズ管理」は「作文」を指定しています。指定したら、「保存」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a management interface with the following fields and values:

- Activity Type: 単一文章へのコメント活動
- Target User ID: X
- Phase Management: 文章作成
- Version: init
- Home Page: URL

A blue '保存' (Save) button is located at the bottom of the form.

- ウィンドウ下部の「保存」ボタンを押すのを忘れずに！
- 学生の作文を対象とする場合は、ダミーユーザではなく、学生の ID を指定します。



## 1.5 コメントタグの設定

前書きで述べたとおり、コメントタグの種別は、教師が活動の内容に応じて定義し、TEachOtherS に設定することができます。TEachOtherS におけるコメントには、「個別コメント」と「全体コメント」の2種類があるため、それぞれについて設定します。個別コメントは、誤字や文法に対する指摘のように、文章の特定の部分に行われるコメントです。全体コメントは、文章の特定の範囲を指定しないコメントです。例えば、文章全体や活動全体などに対するコメントを想定しています。

### □ 個別コメント用のタグの設定

(1) 管理画面の「タグ」タブを選択し、「個別」タブを開いてください。

- 個別コメント用のタグには、2種類（Category1, 2）のカテゴリがあります。各カテゴリには、8個のタグを定義できます。
- 1セットしか使わないようであれば、カテゴリ名の横のチェックボックスで無効にしてください。

(2) タグ名とカテゴリ名を記入してください。次の例では、カテゴリ名を「形式」として、前書きで述べた五つのタグを定義しています。定義が不要な欄は空欄にしてください。記入が終わったら、必ず「保存」ボタンを押してください。

- タグ名は、さまざまな場面で表示されるので、できるだけ簡潔に記述することをおすすめします。
- 表示例は、2.1.3 節『コメントづけ（個別コメント）』を参考にしてください。

## 全体コメント用のタグ設定

- (1) 管理画面の「タグ」タブを選択し、今度は「全体」タブを開いてください。デフォルトでは、「作文全体への注記」のスイッチはオフになっているので、オンの状態にしてください。全体コメントを使用しない場合は、特に設定を変更する必要はありません。

管理画面の「タグ」タブを選択し、「全体」タブを開く。デフォルトでは「作文全体への注記」のスイッチがオフになっているので、オンにする。n段階評価は5に設定されている。観点1から観点5の入力欄がある。



全体コメントは、授業の終わりにしばしば用いられる「評価シート」のような位置づけで導入されています。

- (2) タグ名を記入してください。定義が不要な欄は空欄にしてください。各タグにはコメントの他、必要に応じて、n段階の評価値をつけることもできます。記入が終わったら、必ず「保存」ボタンを押してください。

タグ名を記入する。定義が不要な欄は空欄にする。各タグにはコメントの他、必要に応じてn段階の評価値をつけることもできる。記入が終わったら必ず「保存」ボタンを押す。



- 実際の使い方は、「コメントづけ（全体コメント）」(p.14)を参照してください。
- デフォルトでは、「観点1」から「観点6」がタグ名として設定されています。画面表示の関係上、タグ名はできるだけ短くするのがよいでしょう。



# 第2章

## 実践活動編

---

実践では、準備編で行った設定に基づき、学生のコメントづけ（各自コメント）、グループでの振り返り、クラス全員での振り返りを行います。教師は、これらの活動の管理を「フェーズ」の切り替えにより行います。

## 2.1 「各自コメント」フェーズ

このフェーズでは、学生が各自、評価対象となる文章にコメントします。教師は、TEachOtherSを「各自コメント」フェーズにし、学生にコメントづけ活動を始めるよう指示します。学生が各自の個人用アカウントからTEachOtherSにログインすると、評価対象の文章へのコメントづけ活動が始まります。

### □ 「各自コメント」フェーズへの切り替え

管理画面の「メイン」タブをクリックします。このうち、活動タイプとフェーズ管理がそれぞれ「単一文章へのコメント活動」「各自コメント」になっていることを確認してください。もし、なっていない場合は、変更して、「保存」ボタンを押してください。保存が完了すると、「各自コメント」フェーズに切り替わり、学生がコメントづけできる状態になります。

管理画面の「メイン」タブをクリックします。このうち、活動タイプとフェーズ管理がそれぞれ「単一文章へのコメント活動」「各自コメント」になっていることを確認してください。もし、なっていない場合は、変更して、「保存」ボタンを押してください。保存が完了すると、「各自コメント」フェーズに切り替わり、学生がコメントづけできる状態になります。

フェーズ切り替えの操作は、すでにログインしている学生のフェーズを自動的に変更するわけではありません。学生がブラウザをリロードするか、再度ログインしたときに変更が適用されます。

### □ 学生へのログインの指示

教師が活動のフェーズを「各自コメント」に切り替えた後、学生にログインするよう指示します。学生が自分のアカウントにログインすると、教師が事前にアップロードしたコメント対象の文章が表示されます。

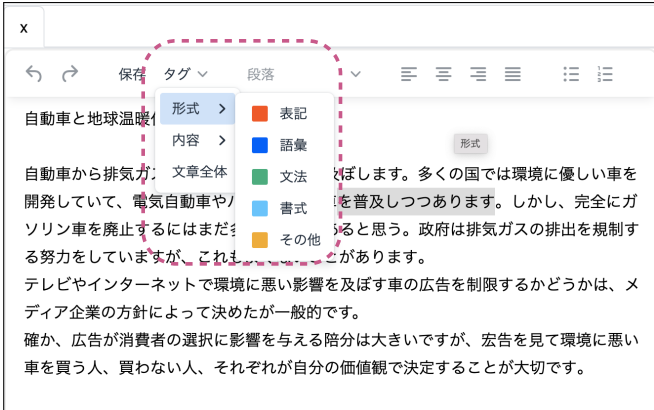
学生が自分のアカウントにログインすると、教師が事前にアップロードしたコメント対象の文章が表示されます。

- ウィンドウ上部にはフェーズ名「個別添削」、エディタのタブにはコメント対象のユーザ名の「X」が表示されます。
- 「個別添削」フェーズでは、文章の変更はできません。

## コメントづけ（個別コメント）

### コメントの付け方

文章へのコメントづけするには、まず、コメントしたい箇所を選択し、「タグ」メニューからコメントタグを指定してください（左図）。すると、コメント入力用のウィンドウ（右図）が表示されます。「OK」ボタンを押すと、選択した箇所の文字に下線が引かれます。なお、同じ場所に重複して、コメントづけすることも可能です。



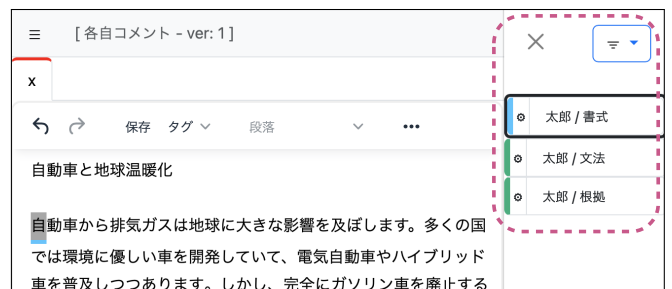
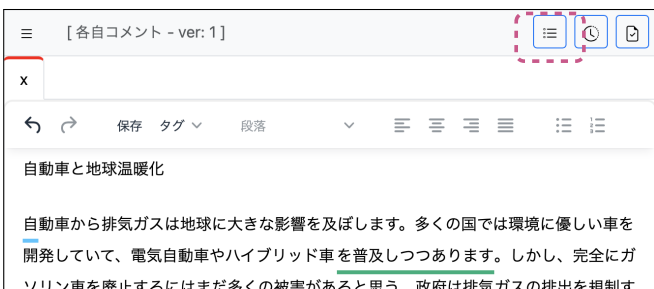
- 「タグ」メニューの1階層目は、前章（「個別コメント用のタグの設定」）で定義したカテゴリ、2階層目がコメントタグになります。
- コメントタグの種類によって、文章への下線の色が異なります。

- 入力フォームにコメントを入力してください。空欄の場合、コメントタグのみ付与されます。
- コメントタグを変更したい場合は、画面左のメニューから再選択できます。

### コメントの修正と削除

コメントを修正したい場合、対象のコメントの下線をダブルクリックすれば、上で説明したコメント入力用のウィンドウが表示されるので、そこで修正を行います。削除する場合は、ゴミ箱のアイコンを押してください。

なお、ウィンドウ上部（下図左）の「≡」をクリックすると表示されるコメント一覧（下図右）からも、修正・削除が可能です。一覧の「⚙️」（歯車のアイコン）をクリックすれば、コメント入力用のウィンドウが表示されます。





## 2.2 「グループ振り返り」フェーズ

「グループ振り返り」フェーズでは、「各自コメント」フェーズのコメントを、グループ単位で対象文章上に統合し、振り返りを行います。なお、「グループ振り返り」を飛ばして、次節の「全体振り返り」フェーズに進んでもかまいません。

### □ 「グループ振り返り」フェーズへの切り替え

管理画面の「メイン」タブで「フェーズ管理」をクリックし、「グループ振り返り」に切り替え、「保存」ボタンを押してください。このフェーズでは、学生が個別に行ったコメントをグループ内で互いに閲覧できるようになります。グループの設定は、準備編（p.6）で行った内容が反映されます。

- 「各自コメント」フェーズで保存し忘れたコメントは、保存できなくなるので、フェーズの切り替えは慎重に行ってください。
- 「グループ振り返り」フェーズでは、学生は本文の編集はできないのはもちろんのこと、コメントづきもできません。

### □ 学生へのフェーズ切り替えの指示

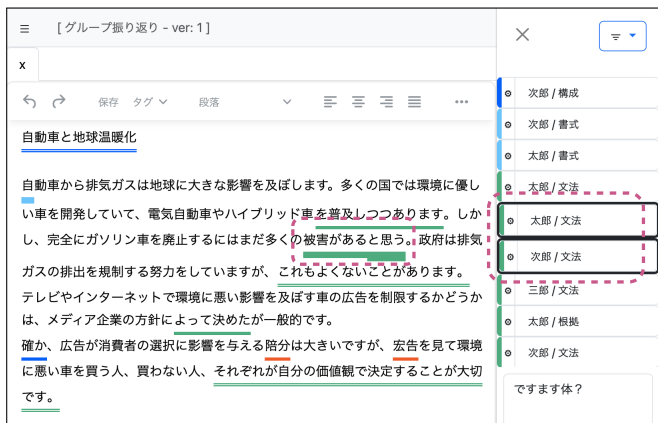
教師が行ったフェーズ切り替えを学生の TEachOtherS に反映させるために、ブラウザをリロードするよう学生に指示してください。次の図は、「グループ振り返り」フェーズにおける学生側での TEachOtherS の表示例です。このように、グループのメンバー（太郎、次郎、三郎）のコメントが統合されて表示されます。

## □ 振り返りの支援機能

学生がグループでの振り返りを行う際に便利な機能を二つ紹介します。

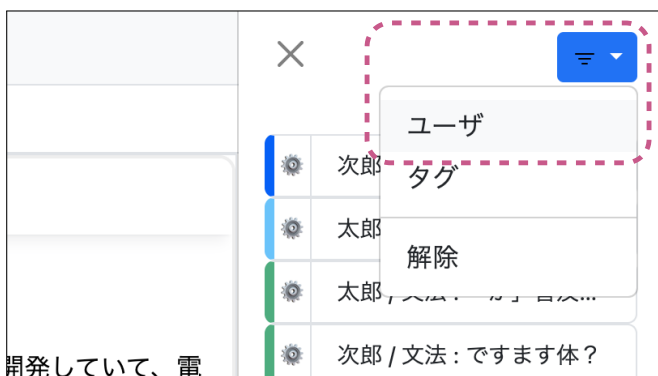
### ■ コメントの詳細の閲覧

文章中の下線をクリックすると、コメント一覧（画面右）の当該項目の外枠が黒くなります。下線が重複しているときは、複数の項目が対象になります。各項目の詳細を参照するには、「ギア」のアイコンをクリックしてください。



### ■ ユーザやコメントタグでの絞り込み

コメント一覧のメニュー（右上）から、ユーザやコメントタグで、コメントを絞り込みを行うことができます。次の例では、ユーザ「次郎」で絞り込みを行う例です。絞り込みを行うと、コメント一覧のだけでなく、文章のほうにも反映されます。例では、「次郎」がコメントした場所のみ、下線が引かれます。絞り込みを解除するには、コメント一覧のメニューから「解除」を選択してください。



## 2.3 「全体振り返り」フェーズ

全体振り返りフェーズでは、クラス全員での振り返りを行います。このフェーズでは、先生も交えつつ、すべてのメンバーのコメントも踏まえて、振り返りを行います。

### □ 「全体振り返り」フェーズへの切り替え

教師が管理画面の「メイン」タブで「フェーズ管理」をクリックし、「全体振り返り」に切り替え、「保存」ボタンを押してください。これにより、グループの設定に関わらず、クラス全体が一つのグループになり、すべての学生のコメントが対象文章上に統合されます。このフェーズでは、「グループ振り返り」フェーズと同様、学生は本文の編集はできないのはもちろんのこと、コメントづけもできません。

The screenshot shows the 'Phase Management' interface. At the top, there are tabs: 'Main', 'User', 'Tag', 'Log', and 'Other'. The 'Main' tab is active. Below the tabs, there are several fields: 'Activity Type' (set to 'Single Article Comment Activity'), 'Target User ID' (set to 'x'), 'Phase Management' (set to 'Overall Reflection'), 'Version' (set to 'init'), and 'Home Page' (URL field). A 'New Version' button is next to the version field. At the bottom, there is a large blue 'Save' button.

「各自コメント」フェーズで保存し忘れたコメントは、保存できなくなるので、フェーズの切り替えは慎重に行ってください。

### □ 「全体振り返り」フェーズの活動の流れ

「全体振り返り」フェーズを切り替えた後は、「グループ振り返り」フェーズと同様、学生へのフェーズ切り替えの指示を行います。前述のとおり、クラス全体が一つのグループとして扱われますが、振り返りの支援機能は、「グループ振り返り」フェーズと変わりありません。





# 第3章

## その他の機能

---

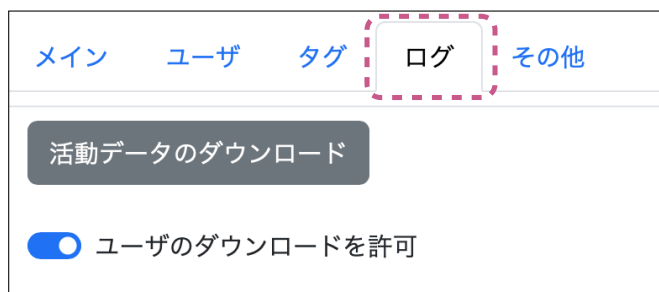
これまで章では、必要不可欠な機能のみを説明しました。本章では、活動の内容によっては必要になる機能として、活動データのダウンロード機能、ユーザアカウントの「オプション」機能、匿名機能を紹介します。

## 3.1 活動データのダウンロード機能

TEachOtherS で行った活動の結果は、「活動データ」として、教師や学生がダウンロードすることができます。ダウンロードした活動データには、コメント対象の文章のほか、学生が付与したコメントが含まれます。データの形式は、HTML なので、ブラウザで閲覧したり、(HTML の知識があれば) 必要なデータを抽出することが可能です。

### □ 教師がダウンロードする場合

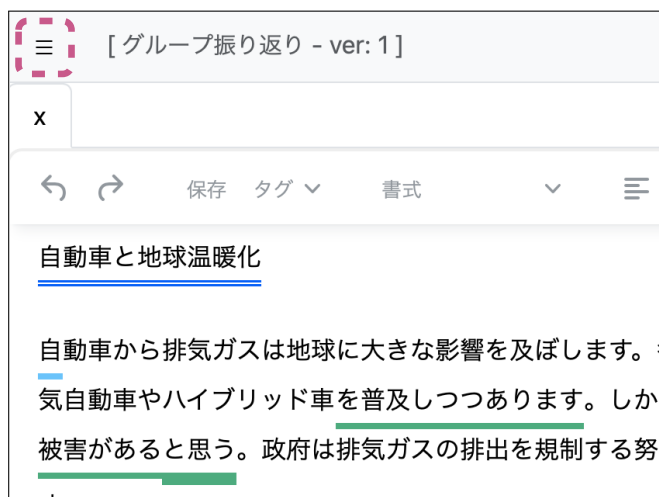
管理画面の「ログ」タブの切り替え、「活動データのダウンロード」のボタンを押してください。活動データが zip ファイル形式でダウンロードされます。利用方法は、このあとの節で説明します。



教師本人だけでなく、学生にもダウンロードの権限を与えたい場合、「活動データのダウンロード」ボタンの下にある「ユーザのダウンロードを許可」をオンにしてください。

### □ 学生がダウンロードする場合

教師側で「ユーザのダウンロードを許可」(上図) をオンにしておくこと、学生側でも、画面左上「☰」→「活動情報」→「ツール」メニューの「活動データのダウンロード」から、活動データがダウンロードできるようになります。



## □ ダウンロードしたファイルの使い方

ダウンロードされたファイルを解凍して、index.html ファイルを探してください（末尾の.html は PC 環境によって表示されない場合があります）。index.html をクリックすると、既定の Web ブラウザで、次のような画面が表示されます。

作文の編集やアノテーションの追加はできないなど一部の機能は制限されますが、データの閲覧機能については、サーバ上の TEachOtherS と大きな違いはありません。下図は、「フィルタ」機能を利用しているところです。

The screenshot shows a web browser window with a document titled "自動車と地球温暖化". The document content is as follows:

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える 陪分は大きいですが、宏告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。

The right sidebar shows a filter menu with the following options:

- 個別 (Selected)
- 全体
- フィルタ
- ユーザ
- アノテーション
- 解除
- 次郎 / 文法 (Selected)
- によって決められる?
- 次郎 / 語彙
- 確かに?
- 三郎 / 表記
- 部分?

- 教師がダウンロードした活動データには、すべての学生のデータが含まれます。
- 学生の場合は、ダウンロード機能を利用するフェーズによって、異なります。例えば、グループ振り返りでは、グループのメンバーのデータのみに制限されます。

## 3.2 ユーザアカウントの「オプション」機能

前章までの例では、学生がログインする場合、各ユーザには固有の URL を設定しているため、「ユーザ ID」のみでログインし、パスワードは使用していませんでした。

もし、パスワードを設定したい場合は、ユーザ登録時に「オプション」機能を利用してください。このオプションを設定すると、学生はログイン時に「ユーザ ID」と「オプション」の両方を入力することになります。

### □ 「オプション」の設定

- (1) 学生のユーザ登録は、準備編で説明した方法と同様です。管理画面の「ユーザ」タブで「操作」メニューから「ユーザ登録」を選択します。
- (2) 「ユーザ登録」欄には、「学生のユーザ ID+ 半角カンマ + オプション」の形で入力してください（右図）。



The 'ユーザ登録' form has a title bar with a close button. Below the title, there is a text prompt: '登録するユーザを入力してください。' (Please enter the user to be registered.). A list of users is shown: 太郎,111; 次郎,222; 三郎,333; 花子,444; 朝子,555; 夕子,666. The list is enclosed in a red dashed box. At the bottom right, there are 'Cancel' and 'OK' buttons.

- (3) 追加されたオプションの情報は、「ユーザ」タブの画面において、「ID」の右列に表示されるようになります。学生「太郎」がログインする際は、右図のようにユーザ名とオプションを入力します。

The screenshot shows a table of users. The 'オプション' column is highlighted with a red dashed box. The table has columns for 'ID', '更新日時', 'グループ', and 'URL'. The data rows are as follows:

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
太郎	111	2024/6/24 16:24:05	0	<a href="https://example.com/?t=4b6...">https://example.com/?t=4b6...</a>
次郎	222	2024/6/24 16:24:05	0	<a href="https://example.com/?t=4b6...">https://example.com/?t=4b6...</a>
三郎	333	2024/6/24 16:24:05	0	<a href="https://example.com/?t=4b6...">https://example.com/?t=4b6...</a>
花子	444	2024/6/24 16:24:05	0	<a href="https://example.com/?t=4b6...">https://example.com/?t=4b6...</a>
朝子	555	2024/6/24 16:24:05	0	<a href="https://example.com/?t=4b6...">https://example.com/?t=4b6...</a>
夕子	666	2024/6/24		<a href="https://example.com/?t=4b6...">https://example.com/?t=4b6...</a>

The diagram shows a hand holding a pencil writing on a document. Below this, there is a login form with two input fields: 'ID' containing '太郎' and '(オプション)' containing '111'. A red dashed box highlights the entire login area. At the bottom, there is a blue 'ログイン' button.

## 3.3 「匿名」機能

学生が「個別評価」フェーズでコメントづけなどを行うと、グループ振り返りと全体振り返りの際、注釈者名として、学生の「ユーザ ID」のままに表示されます。教育上、「ユーザ ID」が表示されるのが好ましくない場合、コメントの注釈者名を見えないようにする「匿名」機能を利用してください。

### □ 「匿名」オプションの設定

「匿名」機能を利用するには、「ユーザ」タブの「匿名」オプションにチェックを入れ、「保存」ボタンを押してください。

「匿名」オプションをつけると、下図のように、コメントなどの注釈者名が「匿名」と表示されるようになり、学生間では注釈者が誰なのかわからなくなります。

ID	(オプション)	更新日時	グループ	URL
x		2024/6/10 12:06:41	0	<a href="https://example.com/anonymous">https://example.com/anonymous</a>
太郎		2024/6/10 12:06:41	1	<a href="https://example.com/anonymous">https://example.com/anonymous</a>

[グループ振り返り - ver: 1]

x

保存 タグ 書式

自動車と地球温暖化

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発して、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

- 匿名 / 構成
- 匿名 / 書式
- 太郎 / 書式
- 太郎 / 根拠
- 太郎 / 文法
- 太郎 / 文法
- 匿名 / 文法
- 匿名 / 文法





